

成績評価(GPA制度)について

(平成21年度入学者用)

九州大学高等教育機構

新しい成績評価制度(GPA制度)の導入について

九州大学では、平成19年度入学生より新しい成績評価制度(GPA制度)を導入しています。

新しい成績評価制度とは？

これまでの成績評価は、優・良・可・不可の4段階評価でしたが、これをA・B・C・D・Fの「**5段階評価**」に改めました。

これまでの成績評価		改訂 →	平成19年度入学生からの成績評価	
評点	評語		評点	評語
80-100	優	90-100	A	
70-79	良	80-89	B	
60-69	可	70-79	C	
59以下	不可	60-69	D	
		59以下	F	

これまでの「優」評価(80点～100点)を「A」評価(90点～100点)と「B」評価(80点～89点)に分割し、成績評価をよりきめ細かに行うことにより、成績優秀者にインセンティブを与えるものです。

各科目の成績は100点法により評価され、60点以上を合格とし、単位が与えられます。

また、新しい5段階評価への改訂に伴い、「**GPA制度**」を導入しました。

GPA制度とは？

GPA(Grade Point Average)制度は、米国を始め諸外国の大学で採用されている制度であり、グローバル化時代における国際的な成績評価システムです。日本においても、平成18年度の統計では、国公私立大学を合わせ294大学(全体の40%)が採用しているシステムです。

GPAとは、履修登録した科目毎の5段階評価(A・B・C・D・F)を4から0までの点数(**GP**:Grade Point)に置き換えて単位数を掛け、その総和(**GPT**:Grade Point Total)を履修登録単位数の合計で割った平均点です。

$GPA = GPT / \text{履修登録単位数の合計}$ $\cdot GPT = [GP \times \text{単位数}] \text{の総和}$

また、実際の計算例を次に示します。

科目名	単位数(a)	評点	評語	GP(b)	(a×b)
〇〇〇〇基礎	2単位	95	A	4	8
△△△△基礎	2単位	89	B	3	6
□□□□基礎	2単位	73	C	2	4
□□□□演習	1単位	64	D	1	1
□□□□演習	1単位	50	F	0	0
計	8単位				19
	(履修登録単位数の合計)				(GPT)

$GPA = 19 (GPT) \div 8 \text{ 単位 (履修登録単位数の合計)} = 2.38$

つまり**GPA**とは、1単位当たりの平均値を意味しています。

新しい成績評価制度におけるGPを含めた成績等の表示と成績評価判断基準をまとめて次表に示します。

評語	評点	Grade Point	意味	
A	90点～100点	4	特に優れている	Excellent
B	80点～89点	3	優れている	Good
C	70点～79点	2	普通である	Fair
D	60点～69点	1	一応の学修成果があり、単位は認める	Pass
F	59点以下	0	不合格	Fail
P	—	1	全学教育における学習到達度再調査による合格	Pass
W	—	—	履修中止	Withdrawal
R	—	—	認定科目(合否判定科目等、および本学以外で修得した科目を単位として認めたもの)	Recognition

(注) 1. 「D」以上および「P」を合格、「F」を不合格とする。
 2. 「W」および「R」は、GPAの対象外とする。
 ※「合否判定科目等」とは、評点を付さずに「合・否」等(2段階)で評価する科目を指す。

評語「P」は、全学教育科目に限定した評価です。全学教育では、定期試験で不合格「F」になった者に対し、当該学期中に授業担当教員の判断により「学習到達度再調査」が実施されますが、そこで一定の成果が認められ、合格の評価を受けた場合に与えられる評価です。GPは、D評価と同じ「1」です。

評語「W」は、履修登録したものの、一定の期限内に履修を取りやめることを申請し、認められた科目であることを示します（「履修中止制度」参照のこと）。GPAの算出対象とならず、従ってGPの設定はありません。

評語「R」は、合否で成績が評価される科目、本学以外で修得した科目を示します。GPAの算出対象とならず、従ってGPの設定はありません。

GPAの対象となる科目は？

原則として、①と②以外の授業科目が対象となります。

- ① 評点を付さずに「合・否」等で評価する科目（合否判定科目等）
- ② 本学以外で修得した科目を単位として認めたもの
 - ・編入学または転入学した際の単位認定科目
 - ・本学入学前に修得した単位認定科目
 - ・他大学との単位互換により修得した科目
 - ・外国語検定試験により修得した単位認定科目

全学教育、各学部・学科の専攻教育において別途定めた「GPA算出除外科目」を別表1に示します。

GPA制度の目的とは？

学生諸君の学習意欲を高めることを目的としています。自分自身の学修計画に責任を持ち、履修登録した科目を自主的、意欲的に学修することを促すための制度です。

この制度を円滑に運用するため、教員には授業内容をシラバスで十分に周知すること、また成績評価法も明確に示すことが責務となります。

GPAの利用法は？

- ① 学生諸君の学修計画に利用できます。
成績通知書には、学期毎のGPA値や累積GPA値が示されます。
自主的、意欲的な履修計画に利用して下さい。
- ② 教員等による修学指導に利用されます。
修学指導については、各学部・学科で独自に取り組まれます。
- ③ 授業料免除・各種奨学金・留学等の支援対象者の選考に利用されることがあります。
- ④ 学部・学科によっては、2年次以降のコース分け、転学科・転学部等に利用されることがあります。

GPA制度導入に伴う科目履修上の注意

必修科目の単位取得は卒業に必要(卒業要件)であり、不合格となった場合は、再度履修し単位を修得しなければなりません。ただし、再履修し、単位を修得しても、不合格となった成績もGPAの値に反映されます。

選択科目の履修を途中で「放棄」した場合には、不合格「F」の評価となり、GPAの値に反映されます。科目選択はシラバスの内容をよく確認し、慎重に行わなければなりません。但し、授業内容が想定していたものと異なっていたり、履修上必要な知識が不足している等の理由で、履修を中止したい時には、「履修中止」の措置をとることができます(「履修中止制度」)。この場合、履修放棄とは見なされず、従ってGPAの値には反映されません。

履修中止制度について

履修登録後であっても、次表に示す各学部・学科で定められた履修中止申請時期・期間内であれば、履修を中止することができます。履修中止を申請できる科目は、選択(選択必修)科目です。必修科目と集中講義科目は、申請できません。

ただし、修学途中で、病気や特別な事情等で学修が継続できない場合には、履修中止申請時期を問わず、クラスの修学指導教員または修学相談員からの申請により、必修科目および集中科目を含め、履修の中止が認められます。

なお、「**総合選択履修方式**」により履修登録した他学部・他学科の専攻教育科目の履修中止申請時期と期間については、科目を開講する学部・学科の定める時期・期間ではなく、学生諸君の所属する学部の時期・期間とします。

学部	履修中止申請時期	期間	
文学部	学期開始後の6週目から	1週間	
教育学部	学期開始後の5週目から	2週間	
法学部	試験期間の2週間前から	1週間	
経済学部	学期開始後の6週目から	1週間	
理学部	試験期間の1ヶ月前から	1週間	
医学部	医学科	全科目必修のため、履修中止期間は設定しない	—
	保健学科	試験期間の1ヶ月前から	2週間
	生命科学科	学期開始後の5週目から	1週間
歯学部	全科目必修のため、履修中止期間は設定しない	—	
薬学部	学期開始後の3週目から	2週間	
工学部	試験期間の2週間前から	2週間	
芸術工学部	学期開始後の6週目から	1週間	
農学部	学期開始後の4週目から	1週間	
21世紀プログラム	学期開始後の4週目から	1週間	
全学教育	学期開始後の7週目から	1週間	

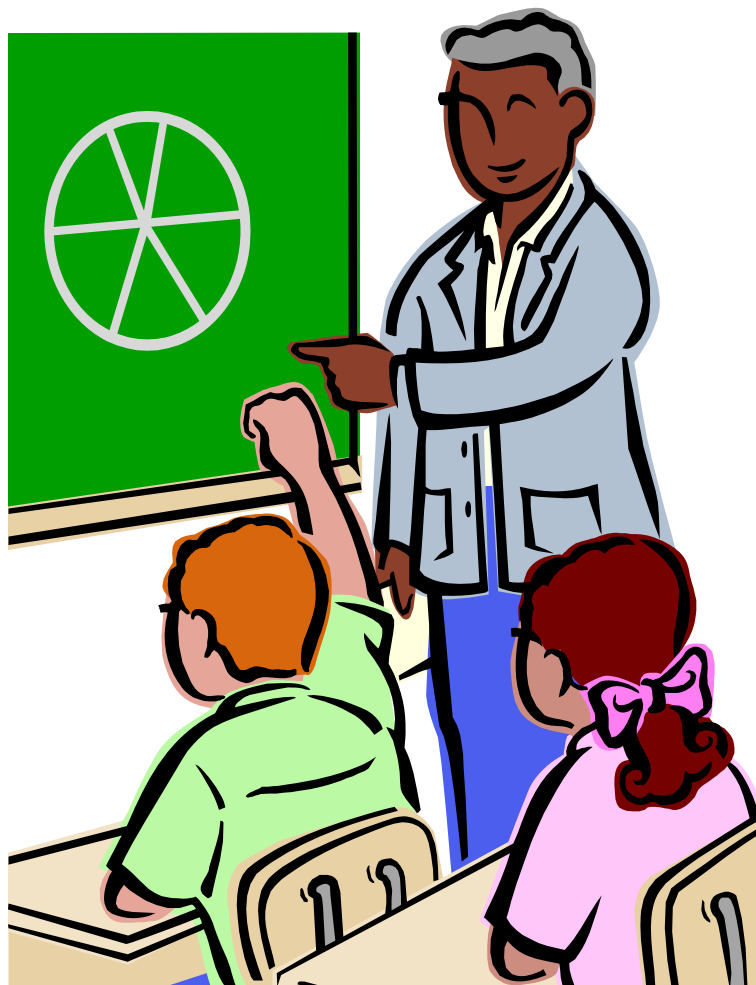
< 総合選択履修方式とは？ >

全ての全学教育科目と他の学部・学科で開講される専攻教育科目の中から科目を自由に選択して履修することのできる制度です。

成績通知書, 成績証明書の記載内容について

成績通知書には, 全ての学修履歴が記載されます。全ての評価の記載とともに, 学期毎のGPA値, 累積GPA値が示される他, 全学教育, 専攻教育毎のGPA値も記載されます。

成績証明書には, 累積GPA値の他, 「W」(履修中止科目)以外の全ての評価が記載されます。



別表1 GPA算出除外科目

学部	学科	GPA算出除外科目		
文学部	—	教職に関する科目及び博物館に関する科目（ただし、美学美術史、日本史学及び考古学の実習科目は除く。）		
教育学部	—	教育心理学概説、教育学概説、心理学実験Ⅰ、心理学実験Ⅱ、教育学文献購読、教育学フィールドワーク、教育学ボランティア演習、教育学インターンシップ、演習科目、卒業論文指導演習、卒業論文演習、卒業論文、教職課程の科目		
法学部	—	なし		
経済学部	経済・経営学科 経済工学科	なし		
理学部	物理学	物理学特別講義A（物理学最前線）、物理学特別講義Ⅰ（最先端物理学）、物理学ゼミナール、特別研究、教職に関する科目および博物館法施行規則で定める科目、物理学総論等卒業要件に含まれない科目		
	化学科	化学特別研究、教職に関する科目および博物館法施行規則で定める科目、物理学総論等卒業要件に含まれない科目		
	地球惑星科学科	教職に関する科目および博物館法施行規則で定める科目、物理学総論等卒業要件に含まれない科目		
	数学科	数理学講究第Ⅰ、数理学講究第Ⅱ、数理科学特論、教職に関する科目および博物館法施行規則で定める科目、情報社会論、情報社会における企業とその職業観、インターンシップ		
	生物学科	生物学特別研究Ⅰ、生物学特別研究Ⅱ、生物学演習Ⅱ、生物学演習Ⅲ、教職に関する科目および博物館法施行規則で定める科目、物理学総論等卒業要件に含まれない科目		
医学部	医学科	なし		
	保健学科	看護学専攻	医療系統合教育、卒業研究、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学急性期実習、成人看護学慢性期実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、助産学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習、地域看護学実習、総合実習	
		放射線技術科学専攻	医療系統合教育、卒業研究、臨地実習	
		検査技術科学専攻	医療系統合教育、卒業研究、臨地実習	
	生命科学科	生命科学入門Ⅰ、生命科学入門Ⅱ、生命医科学実習Ⅰ、生命医科学実習Ⅱ、生命医科学実習Ⅲ、生命医科学実習Ⅵ、生命医科学実習Ⅴ、生命医科学実習Ⅵ、生命科学研究法Ⅰ、生命科学研究法Ⅱ、生命科学研究法Ⅲ、生命科学研究法Ⅳ、生命科学特別研究（卒論）、医療系統合教育Ⅰ、医療系統合教育Ⅱ、医療系統合教育Ⅲ、医療系統合教育Ⅳ		
歯学部	—	歯学総論Ⅰ～Ⅴ、アーリーエクスポージャーⅠ、アーリーエクスポージャーⅡ、リサーチエクスポージャー特論、リサーチエクスポージャー、ソーシャルエクスポージャー特論Ⅰ、ソーシャルエクスポージャー特論Ⅱ、総合歯科学、特別科目（医事法制、歯科法医学、臨床心理学、人類遺伝学、臨床薬剤学）、歯科臨床実習		
薬学部	創薬科学科 臨床薬学科	なし		
工学部	建築学科	建築の職能と倫理、建築学研究序説、建築学研究		
	電気情報工学科	電気情報工学卒業研究、電気情報工学特論、電気情報工学実習		
	物質科学工学科	学科共通科目	物質科学工学概論第一、物質科学工学概論第二	
		化学プロセス・生命工学コース	情報処理概論、物質科学工学実験第一、物質科学工学実験第二、物質科学工学実験第三、物質科学工学卒業研究、化工情報処理演習、化学プロセス特別講義一、化学プロセス特別講義二、生命工学特別講義一、生命工学特別講義二	
		応用化学コース	情報処理概論、物質科学工学実験第一、物質科学工学実験第二、物質科学工学実験第三、物質科学工学卒業研究	
材料科学工学コース		情報処理概論、物質科学工学実験第一、物質科学工学実験第二、物質科学工学実験第三、物質科学工学卒業研究、材料設計製図、機械工作実習、産業科学技術特別講義		

工学部	地球環境工学科	学科共通科目	地球環境工学入門Ⅰ，地球環境工学入門Ⅱ	
		建設都市工学コース	情報処理概論，地球環境工学卒業研究，環境・都市演習第一，環境・都市演習第二，環境・都市演習第三，社会資本整備と技術者倫理，環境・都市工学実験A，環境・都市工学実験B，測量学実習	
		船舶海洋システム工学コース	地球環境工学卒業研究	
		地球システム工学コース	なし	
	エネルギー科学科	エネルギー科学卒業研究，産業活動実習，課題集約演習		
	機械航空工学科	機械工学コース	機械航空工学卒業研究	産業活動実習Ⅰ，産業活動実習Ⅱ
航空宇宙工学コース		機械航空工学卒業研究，産業活動実習Ⅰ，産業活動実習Ⅱ		
芸術工学部	環境設計学科	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱ，インターンシップ(学部)，ポートフォリオ管理		
	工業設計学科	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱ，インターンシップ(学部)		
	画像設計学科	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱ，インターンシップ(学部)		
	音響設計学科	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱ，インターンシップ(学部)		
	芸術情報設計学科	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱ，インターンシップ(学部)		
農学部	学部共通科目	物理学基礎概要，生物学基礎概要，博物館実習，動物学標本実習，地球環境問題演習，物理学総論，地学通論，職業指導学Ⅰ，職業指導学Ⅱ，職業指導学		
	留学生対象科目	日本農業入門Ⅰ，日本農業入門Ⅱ，日本農業技術概論Ⅰ，日本農業技術概論Ⅱ		
	生物資源生産科学コース	実験・実習・演習科目，卒業研究に加え，以下の科目を除外する。		
		コース共通科目	科学英語Ⅰ（生物生産システム工学分野のみ），科学英語Ⅱ（地域環境工学分野及び生物生産システム工学分野のみ），生産機械・施設学，機械設計学	
		農政経済学分野	農業調査分析論	
	応用生物科学コース	実験・実習・演習科目，卒業研究に加え，以下の科目を除外する。		
		科学英語Ⅰ，科学英語Ⅱ		
	地球森林科学コース	実験・実習・演習科目，卒業研究に加え，以下の科目を除外する。		
		科学英語Ⅰ，科学英語Ⅱ		
	動物生産科学コース	実験・実習・演習科目，卒業研究に加え，以下の科目を除外する。		
動物生産科学概論，科学英語Ⅰ，科学英語Ⅱ，ルーメン学，家畜衛生学，水族生化学概論，水産食品科学，水産海洋学，栽培漁業学，海洋科学第一，海洋科学第二				
教職に関する科目・博物館関係科目等卒業要件より除外する科目				
21世紀プログラム課程	チュートリアルⅠ，チュートリアルⅡ，チュートリアルⅢ，チュートリアルⅣ，チュートリアルⅤ，チュートリアルⅥ，チュートリアルⅦ，チュートリアルⅧ，社会連携科目A，社会連携科目B，特別科目A，特別科目B			
全学教育	共通コア科目，コアセミナー（理学部化学科，理学部数学科，医学部保健学科，工学部物質科学工学科，工学部地球環境工学科，工学部エネルギー科学科，農学部）			